

平成 29 年 7 月 24 日

神戸市長 久元 喜造 様

神戸空港特定運営事業等優先交渉権者選定委員会
委員長 宮下 國生

神戸空港特定運営事業等の応募者提案に関する審査結果について（報告）

神戸空港特定運営事業等優先交渉権者選定委員会による優先交渉権者の選定及び審査結果について下記のとおり報告します。

記

（選定された応募者）

応募グループ名	ORIX・VINCI Airports・関西エアポートコンソーシアム
代表企業	オリックス株式会社
構成員	オリックス株式会社 VINCI Airports S.A.S 関西エアポート株式会社

※審査結果の詳細は、別添「神戸空港特定運営事業等審査講評」に示します。

神戸空港特定運営事業等
審査講評

平成29年 7 月24日

神戸空港特定運営事業等優先交渉権者選定委員会

平成 18 年 2 月 16 日の開港から 12 年目を迎えた神戸空港は、神戸市民はもとより広く近隣都市の方々にも利用され、これまでに約 2,900 万人の方々にビジネスや観光に幅広く利用され、関西圏の空の玄関口として定着している。

このような中、民間事業者の創意工夫によって、①神戸空港と関西国際空港及び大阪国際空港とともに一体運営に資する方策を講じ、3 空港それぞれの能力を適切に活用することによって、関西全体の航空輸送需要の拡大、神戸経済の活性化、更には関西経済の発展に貢献すること、②空港基本施設及び空港航空保安施設と空港機能施設について、民間事業者の資金及び経営能力を活用することで一体的かつ機動的な空港運営を実現することを目的とした神戸空港特定運営事業等について、平成 28 年 9 月に実施方針、同年 10 月に募集要項を公表し、優先交渉権者の選定手続を進めてきた。

神戸市では、優先交渉権者の選定にあたり、価格及び提案内容等について透明性及び公平性の確保を図るため、競争性のある随意契約(公募型プロポーザル)方式による審査を行うこととし、幅広い専門的見地からの意見を参考とするため、学識経験者により構成される「神戸空港特定運営事業等優先交渉権者選定委員会(平成 28 年 9 月 27 日設置)」(以下、「選定委員会」という。)を設置した。

選定委員会では、優先交渉権者の選定に当たり、選定基準の調査審議を行うとともに、同基準に基づき、応募者の提案審査書類の審査を行った。

この度、提案審査を経て、優先交渉権者を選定したので、これまでの審査の経緯及び応募者の提案内容について、次のとおり講評する。

審査の経緯

1. 選定委員会の委員

委員長	宮下 國生	関西外国語大学外国語学部教授
委員	今西 珠美	流通科学大学人間社会学部教授
委員	上村 敏之	関西学院大学経済学部教授
委員	藤原 正廣	京町法律事務所弁護士
委員	山田 茂善	太陽有限責任監査法人総括代表社員 CEO 公認会計士

2. 選定委員会の開催

第1回	平成28年9月27日	<ul style="list-style-type: none"> ・委員長の選任 ・優先交渉権者選定基準の審査項目の調査審議
第2回	平成29年7月21日	<ul style="list-style-type: none"> ・応募者からのプレゼンテーション ・提案内容を選定基準に基づき評価・審査 ・審査講評の検討

3. 提案審査

ORIX・VINCI Airports・関西エアポートコンソーシアムから提出された提案審査書類の内容及びプレゼンテーション(質疑応答含む。)を踏まえ、公表している優先交渉権者選定基準に基づき審査を行った。

(1)提案審査の結果

審査内容	審査項目	配点	得点
① 運営権対価等の提案額		25	21
I. 提案金額	1. 法的拘束力のある対価等の提示	25	21
② 具体的な事業実施方針及び事業計画の適切性		100	86
I. 空港の運営形態	1. 3空港の一体運営に資する運営形態	30	30
II. 神戸空港の活性化提案	神戸空港の活性化(神戸空港のポテンシャルの活用による関西全体の航空輸送需要の拡大、神戸経済の活性化、更には関西経済の発展に貢献する具体的な提案を含む)に関する具体的な事業実施方針及び事業計画		
	<ul style="list-style-type: none"> ▶5年間の取組み・施策 ▶中長期の取組み・施策 		
	1. 事業戦略 <ul style="list-style-type: none"> ▶航空系営業収益の予測値並びに航空機発着回数・空港利用旅客数・取扱貨物量の目標値及びその施策(エアライン・路線誘致戦 	30	22

審査内容	審査項目	配点	得点
	略、戦略的な料金施策等) ▶着陸料等の料金施策 ▶設備投資計画 ▶非航空系営業収益の予測値及びその施策 ▶非航空系事業に係る料金施策		
	2. 安全・保安に関する提案 ▶空港の安全な運営及び維持管理に関する具体的施策 ▶トラブル発生時（事件若しくは事故、災害、疫病等）における対応策 ▶環境対策に関する施策	10	10
	3. 空港利用者の利便性向上に関する提案 ▶空港内の利用者の利便性、快適性向上戦略 ▶駐車場料金の料金施策 ▶空港用地内における利便性向上に資する投資計画	10	8
	4. 空港アクセス事業者（鉄道、バス、タクシー、海上運送等）との連携に関する提案	5	4
	5. 空港の利用促進に関する提案	5	5
Ⅲ. 任意事業の提案	1. 任意事業に関する具体的な事業実施方針及び事業計画	10	7
Ⅳ. その他安定的な空港運用を見込む上で不適格な項目が提案されていないか	1. 具体的な事業実施方針及び事業計画（Ⅱ. と同じ）	-	-
③事業運営の技術的基礎		40	37
I. 事業実施体制	1. 運営開始時点での応募企業又は代表企業を含むすべての構成員の名称及びSPCの議決権保有比率(各構成員の企業概要等の説明書類を添付) 2. 運営開始時点で各構成員が派遣する取締役その他役員の数、それらを踏まえたガバナンスの方針等	-	-

審査内容	審査項目	配点	得点
Ⅱ. 事業計画実行能力	1. 業績向上施策の内容に関する類似業務における実績	10	10
	2. コンソーシアム構成員間の協力・連携及び各構成員の貢献度を示すもの(役割や責任の分担に関する基本合意等)	10	9
Ⅲ. セルフモニタリング方法	1. 要求水準の充足 2. 応募者の提案事項の履行状況 3. 安全・保安に関するセルフチェック	10	8
Ⅳ. 職員の配置	1. SPC 等の人事・雇用に関する施策 2. 市からの派遣を要望する職員の職種、人数及び派遣期間並びに技術承継のための施策	10	10
Ⅴ. その他、不適格審査対象項目への該当がないか	1. すべてのコンソーシアム構成員の名称、企業概要等の説明書類 (I.1. と同じ) 2. 運営開始時点で各構成員が派遣する取締役その他役員の数、それらを踏まえたガバナンスの方針等 (I.2. と同じ) 3. 適切な法令遵守体制の確保に関する施策 4. その他関連する資料	-	-
④経理的基盤		35	32
Ⅰ. 収支計画の妥当性	1. 長期の収支計画 (市が提示するフォーマットを基本とする)	35	32
	2. 運営開始時点のキャピタル・ストラクチャー及び財務戦略		
Ⅱ. 資金調達の確実性	1. 必要となる資金の調達内訳の提示 (出資額及び負債調達額の想定等) 及び必要な場合は金融機関等の資金提供者からのコミットメント・レターの提出があるか	-	-
合 計		200	176

(2) 総 評

①運営権対価等の提案額

最低基準価格を上回る運営権対価及び収益連動負担金について提案があり評価できる。

②事業実施方針及び事業計画の適切性(3空港の一体運営に資する方策、神戸空港の活性化の方策等)

空港の運営形態について、関西3空港の一体運営を確実なものとするため関西エア

ポートグループとして一体的な経営を行うこと、関西エアポートの主要株主であるオリックスとヴァンシ・エアポートのサポートの下、関西国際空港（関空）及び大阪国際空港（伊丹）を運営する関西エアポートが有する空港運営及び商業施設について、経験豊富な人材（経営陣の兼務、運営専門スタッフの派遣等）、知見やノウハウを最大限に活用して、神戸空港を運営すること等の提案があり評価できる。

神戸空港の活性化として、航空系事業に関してエアラインマーケティングや旅客マーケティングを実施し、3空港間の航空旅客の重複（カニバリゼーション）を抑えるような路線や機材の大型化を目指すこと、着陸料について将来的には機材の大型化を促進するため、使用機材・重量による料金体系の見直しやインセンティブ制度の導入を検討していること、非航空系事業（物販・飲食事業）について、関空及び伊丹の経験・知見・ノウハウの下、利用者のニーズや動向を定期的に調査し、ニーズやトレンドに対応した店舗展開や両空港に出店するブランド店舗の誘致を目指すこと、施設の更新投資に関して、要求水準を充足するメンテナンスの実施、保安検査の時間を短縮し、混雑を緩和するスマートレーンの導入、店舗区画の改装や拡張を行うこと、空港の安全・保安について、国際民間航空機関（ICAO）基準に従った安全管理計画の作成、空港オペレーション情報の一元運用に向けた神戸空港オペレーションセンターの設置を目指すこと、市が求める補償内容を超える保険を付保する予定であること、環境対策として、関西エアポートが取り組む関空における水素プロジェクトと連携する取り組みとして神戸空港への水素ステーションの誘致を目指すこと、空港の利用促進として、関空や伊丹で開催し、集客力・発信力のある効果的なイベントの開催や3空港間の連携イベントを検討していること等の提案があり評価できる。

③技術的基礎(国内法冷等に則り適切に運営できる能力等)

事業実施体制について、神戸空港を運営するSPCへの出資は、関西エアポートが100%であり、経営陣についても関西エアポートの経営陣が兼務し神戸空港専任の執行役員を配置すること、職員の配置について、神戸市をはじめとした地元関西の人材を積極的に活用すること、関空・伊丹・神戸の3空港の人事施策の一体運用による幅広い知識の習得と多様な経験を積んだ空港専門人材の育成を目指すこと等の提案があり評価できる。

④経理的基礎

収支計画について、将来の大規模修繕を初めとした設備投資を適切に見込むほか、営業収益や費用も、具体的な事業実施方針及び事業計画と整合しており、実現可能性が概ね高い収支計画であり、運営権対価等の支払確実性が高いこと、運営にあたり恒常的に借入を行うことは想定していないこと等の提案があり評価できる。

以上の評価を踏まえると、応募者の提案内容は、神戸空港特定運営事業等の目的である3空港それぞれの能力を適切に活用することによって、関西全体の航空輸送需要の拡大、神戸経済の活性化、更には関西経済の発展に貢献することが大いに期待できるものである。

4. 選定結果

(1)選定事業者

選定基準に基づき評価を行った結果、実施する事業者として以下のグループを選定した。

応募グループ名	ORIX・VINCI Airports・関西エアポートコンソーシアム
代表企業	オリックス株式会社
構成員	オリックス株式会社 VINCI Airports S.A.S. 関西エアポート株式会社

(2)選定委員の意見

- ・提案審査書類に記載されている事項について、確実に実施すること。
- ・神戸空港の SPC について、関西エアポートによる 100%出資の確実な実施をはじめ、役員体制や職員体制について、空港の安全かつ安定的な運営ができる体制を確保すること。
- ・セルフモニタリングの実施に当たっては、公正性や透明性が確保されるように努めること。
- ・民間の知恵と工夫を活かし、神戸らしさが感じられる事業を物販に限らず実施することを期待すること。
- ・神戸空港の SPC の資金調達に関して市が金融機関と調整する必要がある場合、優先交渉権者は誠実に対応すること。
- ・収支の安定を図りつつ、提案書に記載された具体的な事業実施方針及び事業計画の確実な実現を図ること。